

視察（研修）報告書

令和4年 8 月 8 日

府中市議会議員 様

会派名又は

議員名 岡田 隆行

日 時	令和4年8月3日（水）14：00～16：30
視察（研修）先	東京 オンライン研修（USB データと資料）
視察（研修）項目	決算審議の現地研修(応用編・財政分析)
参加者	岡田隆行
視察（研修）内容	<ul style="list-style-type: none">・ 決算審査の視点・ 財政の持続可能性・ 財政化判断比率の対象<ul style="list-style-type: none">※実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債比率、将来負担比率・ 中期財政計画の検討・ 決算カードの見方
所 感	<p>・ 決算審査の視点を学んだ。①施策の効果と改善②財政の健全化③財務・財産管理・会計処理の適正化。この3つが必要。特に財政が持続可能状況にあるかを掴むことが重要となる。決算審査の法定資料では他団体との比較は出来ない。分析資料としては過去の年度の「決算カード」と「財政状況資料集」が必要。その中で「健全化判断比率」「主要施策の成果」を掴むことが重要になる。</p> <p>・ 「決算カード」と「財政状況資料集」を起点に中長期的な財政計画の作成が必要との観点での審議が必要。まさに人口減少は税減収に繋がる。超高齢化は社会保障費の急増を余儀なくされる。公共施設の過剰状態、老朽化にも対応していかなければならない。自然災害にも常に準備しておかなければならないし、感染症という新たな危機にも対応していかなければならない。その認識のもとに中長期の財政運営計画を策定していかなければならないと痛感した。</p>